

2020年8月6日

政府 2020 年第 2 次補正予算

「学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援経費」に関する緊急調査 報告

日本教職員組合

1. 調査の目的

6月12日、新型コロナウイルス感染症に関する政府第2次補正予算が成立した。日教組は、この予算における文科省予算「学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援経費（405億円）」について、趣旨に照らし実効性が担保されるか、さらなる予算拡充の必要はないかを目的とした調査を学校現場に依頼した。

2. 回答数〔総数 384（★文科省が定めた特定地域 191）〕

(1) 都道府県 14 都道府県〔回答総数 384（★文科省が定めた 6 地域 回答数 191）〕

(2) 校種別報告数

| 区分 | 校種による回答数 | | | | 区分回答総数(★) | |
|-----------|----------|-----|--------|---|-----------|------|
| I 小学校 | 小学校 | 182 | | | I 182 | (90) |
| II 中学校等 | 中学校 | 128 | 義務教育学校 | 5 | II 133 | (57) |
| III 高等学校等 | 高等学校 | 52 | 中等教育学校 | 3 | III 55 | (37) |
| IV 特別支援学校 | 特別支援学校 | 14 | | | IV 14 | (7) |

3. 調査方法 Web 調査

4. 調査期間 2020年6月15日（月）～7月17日（金）

5. 調査項目

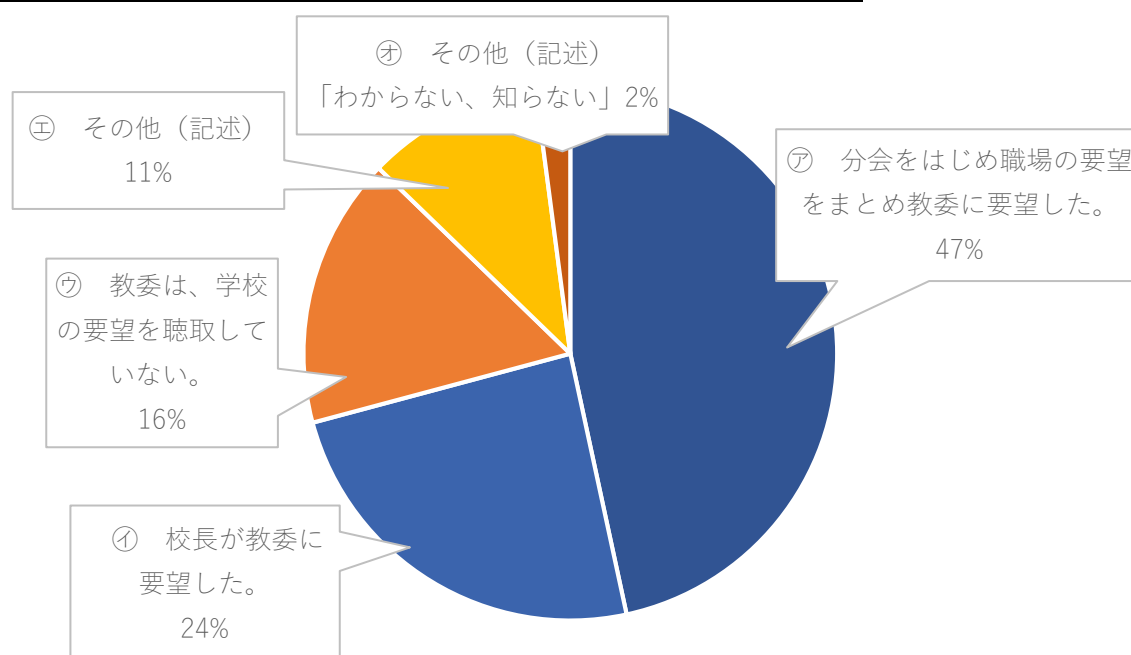
- (1) 「学校再開支援費」の職場での取り扱いについて
- (2) 「学校再開支援費」の活用状況について
- (3) 「学校再開支援費」で購入したもの、購入予定のもの(業務委託費も含む)について
- (4) 新型コロナウイルス感染症の対応として必要なもの(加配等の人員はのぞく)について

6. 調査結果

(1) 「学校再開支援費」の職場での取り扱いについて

① 全体

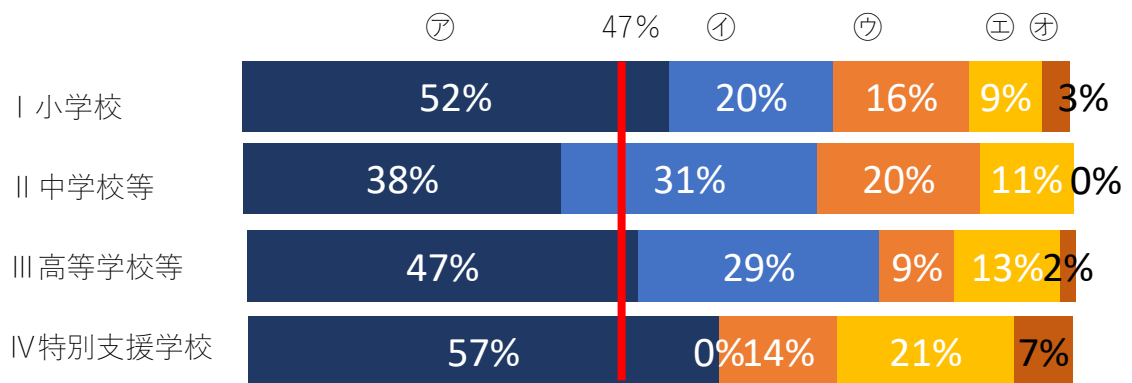
| 選択項目 | 回答数 |
|--------------------------|-----|
| ㊦分会をはじめ職場の要望をまとめ教委に要望した。 | 179 |
| ㊧校長が教委に要望した。 | 93 |
| ㊨教委は、学校の要望を聴取していない。 | 63 |
| ㊩その他（記述） | 41 |
| ㊪その他「わからない、知らない」 | 8 |



- ◆ 上記について、★特定地域とそれ以外を比較した。結果、㊦、㊧の回答には、大きな差は見られなかった。㊨については、特定地域 13%(24 件)に対しそれ以外の地域は 20%(38 件)であった。

② 校種別

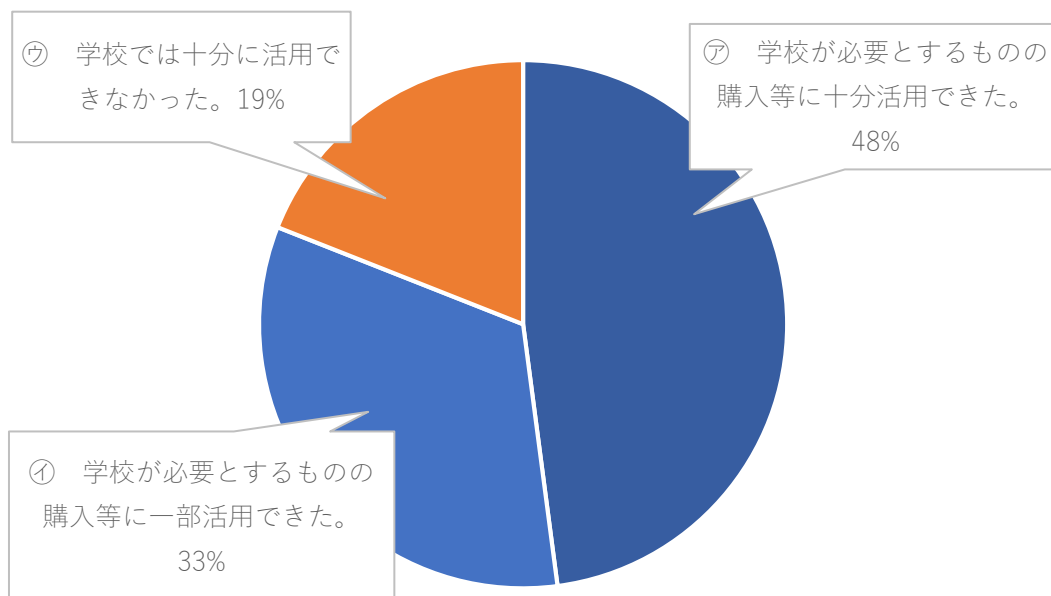
| 選択項目 | I 小 | II 中 | III 高 | IV 特 |
|--------------------------|-----|------|-------|------|
| ㊦分会をはじめ職場の要望をまとめ教委に要望した。 | 52% | 38% | 47% | 57% |
| ㊧校長が教委に要望した。 | 20% | 31% | 29% | 0% |
| ㊨教委は、学校の要望を聴取していない。 | 16% | 20% | 9% | 14% |
| ㊩その他（記述） | 9% | 11% | 13% | 21% |
| ㊪その他「わからない、知らない」 | 3% | 0% | 2% | 7% |



(2) 「学校再開支援費」の活用状況について

① 全体

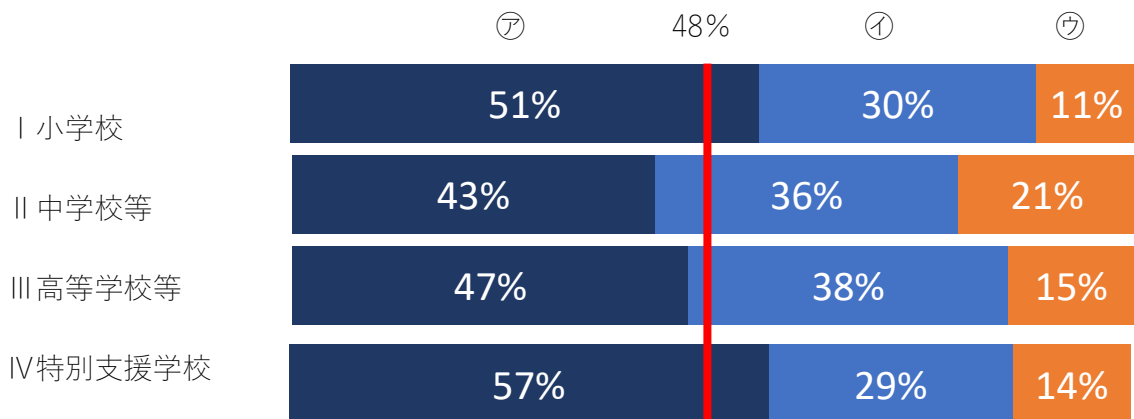
| 選択項目 | 回答数 |
|-------------------------|-----|
| ㊦学校が必要とするものの購入に十分活用できた。 | 184 |
| ㊧学校が必要とするものの購入に一部活用できた。 | 127 |
| ㊨学校では十分に活用できなかった。 | 73 |



◆ 上記について、★特定地域とそれ以外を比較した。結果、㊦について、特定地域は 51%(97 件)、それ以外の地域は 45%(87 件)、㊨について特定地域は 15% (29 件)、それ以外の地域は 23% (44 件) であった。

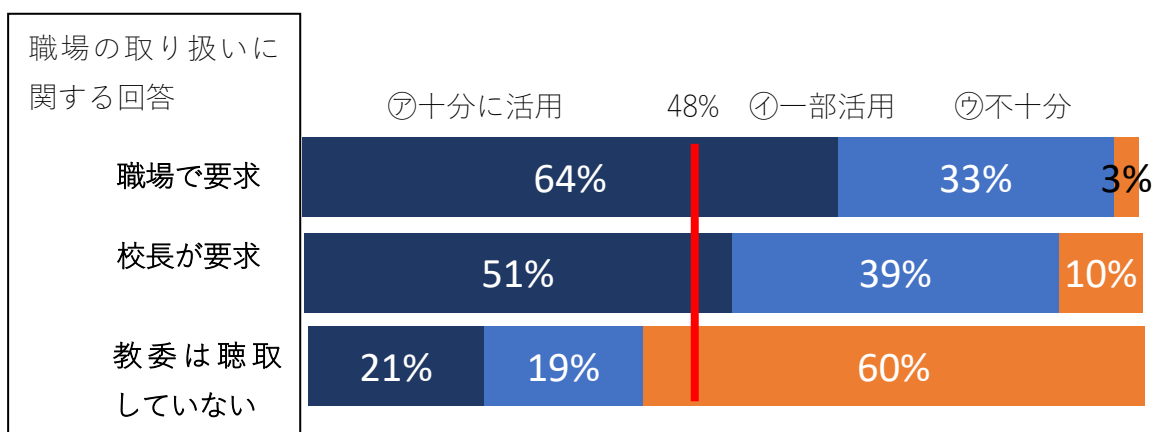
② 校種別

| 選択項目 | I小 | II中 | III高 | IV特 |
|-------------------------|-----|-----|------|-----|
| ㊦学校が必要とするものの購入に十分活用できた。 | 51% | 43% | 47% | 57% |
| ㊧学校が必要とするものの購入に一部活用できた。 | 30% | 36% | 38% | 29% |
| ㊨学校では十分に活用できなかった。 | 11% | 21% | 15% | 14% |



③ (1) 「職場での取り扱い」結果とのクロス集計

| 選択項目 | (1)の回答 | | |
|-------------------------|--------|-----|-----|
| | 職場 | 校長 | 教委 |
| ㊦学校が必要とするものの購入に十分活用できた。 | 64% | 59% | 21% |
| ㊧学校が必要とするものの購入に一部活用できた。 | 33% | 39% | 19% |
| ㊨学校では十分に活用できなかった。 | 3% | 10% | 60% |



◆ 職場で要望をまとめた場合に「十分活用できた」の回答率が高い。

(3) 「学校再開支援費」で購入したもの、購入予定のもの（業務委託費も含む）

① 回答が多かったもの

| 購入（予定）のもの等 | 回答数 |
|----------------------------|-----|
| 消毒用アルコール、消毒用石鹸 | 328 |
| マスク、フェイスガード、使い捨て手袋、ペーパータオル | 185 |
| エアコン、扇風機（体育館用大型扇風機）、空気清浄機 | 147 |
| 非接触体温計、体温計、体温測定用サーモグラフィー | 98 |
| 網戸 | 27 |
| PC、タブレット、wifi 設備 | 25 |

② 参考 上記①以外のもの

(ア) 感染予防対応

アクリルパネル ディスポガウン・グローブ レバー式蛇口 手指消毒器
 小型自動消毒機 全自動高圧蒸気滅菌機 足踏みペダル式ゴミ箱
 本の殺菌器 洋式トイレ（改築）

(イ) 保健室・健康診断等の対応

ニトリル手袋（歯科検診用） ベッド 洗濯機 全自動身長体重計
 感染防止用の間仕切り・パテーション エアコン 冷蔵庫 防水シート
 検診の道具（耳鏡、鼻鏡、歯鏡、器械皿など）

(ウ) 授業・少人数授業（分散）・Web 授業・給食での対応

プロジェクター ホワイトボード 移動式黒板 実物投影機 大型テレビ
 電子黒板 スキャナー デジタル教科書 映像配信のため放送室設備
 教師用タブレット 編集関係機材・ライセンス権 給食台
 給食配膳用テーブル 給食用クロス

(エ) 業務委託等

タブレット管理の業者対応 学校支援スタッフ 消毒業務委託

(オ) 「熱中症」等暑さ対策

テント ミスト 暗幕 児童用麦わら帽子 児童用冷却タオル
 遮光カーテン 製氷機 熱中症指数計 冷水器

(カ) その他

コードレス掃除機 シューズカバー スチール棚 スピーカーフォン
屋外大型時計 ハンズフリー拡声器 メディアコピー機
教科書等の郵送費
手提げ袋クリアホルダなど（臨時休校中の課題等持ち帰り用）
収納ラック 浄水器 電話回線増設 封筒 用紙 インク

(4) 新型コロナウイルス感染症の対応として必要なもの（加配等の人員はのぞく）について * (2)において①、②と回答したものに限る。

① 感染予防のためのマスク（マウスシールド）・消毒アルコール等、感染予防対策のための備品

- 感染予防のためのマスク・アルコール消毒薬等の継続的購入が必要
 - ・ 消毒液等十分には買えたとは言えない。
 - ・ 消毒液 給食配膳用手袋などの消耗品に係る費用拡充を要望する。
 - ・ 給食配膳用手袋などの消耗品に係る費用拡大を要望する。
 - ・ もっと予算がほしい アルコール消毒液が足りない。
 - ・ 今回予算措置された分はほとんど消化される。今後第2波が起こった際、随時購入する物品等の予算が不足する。

② 校舎・教室の改善等

- 改修を伴う支出が不可ということで、特別教室の空調設備設置を検討することができなかった。そのため網戸の設置に切り替えた（網戸に対しては職員からの要望が強かったので、支援費は有効に活用できている）。
- 教室に網戸の未設置の場所がかなりあり、換気のために窓を開けると虫が入ってきて授業が中断するとの指摘あり。工事を伴うものは対象外ということであったが、新型コロナ対策で必要なのに という声が多く聞こえた。
- 工事を伴う事項も容認してほしい。その上で、換気のための体育室網戸設置、飛沫防止のための便座蓋設置が必要。
- 教室での密集を避けるために、エアコン未設置の教室及び特別教室に空調設備を設置したかったが、配分予算では不足かつ改修不可だった。
- 感染疑いの生徒を隔離する部屋(保健室以外)の確保及び整備のための予算がない。
- 換気をしながらのエアコンの使用や、夏休み短縮のために電気代が上がるので、その辺りの補助をしてほしい。また、トイレや水道等、接触を減らすような工事費用があるとありがたい。

③ その他必要なもの

- 感染予防対策として
体温測定用サーモグラフィー 加湿空気清浄機 ウイルス対策強力空気清浄機
消毒業務等の委託費
- 熱中症対策として
エアコン ミスト スポットクーラー 大型扇風機 ポータブルクーラー
- Web 環境整備として
ICT 器機 ネット通信環境（動画等送受信環境） 実物投影機 大型テレビ
- その他
理科の授業における個人用実験器具 。
「活動の制限」のより共有できなくなった備品が増えている。
生徒・家庭との連絡用の電話線の増設。

④ 人的な支援等が必要

- 日常の消毒や健康観察などの業務が大変負担になっています。時間外の作業になることもあるし、これらの業務について担当者自身が感染のリスクが高くなっていることに考慮されていない。
- 消毒作業や児童が行っていたトイレ掃除などを放課後に教職員が行っており負担が増えている。外部委託をしてもらいたい。
- 給食の配膳を行うために大変である。時間もかかっている。予算をつけて簡易な形の給食メニューや弁当形式の給食にできないだろうか。
- やはりモノより人、時間。分散登校ということは教員が倍必要。教員の感染対策しつつ両立は難しい。

⑤ 今回の予算について

- 教育委員会から調査がきていない（7.17・7.16 回答）。
- 校長会にも学校にも一切相談も連絡もなかった。こちらから校長へ、校長から教育委員会への問合せで「補助金」のことが分かった。物品購入後の残金については回答なし。（7.16 回答）
- この事業の詳細をきちんと説明し、趣旨に応じた活用をしてほしい（7.17 回答）。
- 教委が学校再開支援費をコンクリートしており、一方的に提示され、学校の現場を述べるができなかったことが大変残念である。
- 本校は600人を超える生徒に加えて50人を超える教職員が集まるにもかかわらず、さまざまな制約はされても環境を良くするための物品は入ってくるのが遅い。これで感染しないのはこの近くにウィルスがないからである。昨年すべての

学校にエアコンを設置するという約束はどこに行ったのか。(7.10 回答)

- 予算申請できることがありがたい。しかし、現状叶うかどうかわからない。要望がすべて叶うことを願っている。(7.9 回答)
- 必要なものを現場から挙げることについてはありがたく思いますが、何が必要なのかを冷静に考え、要望をまとめる時間がありません。(7.15 回答)

7. 調査結果から

(1) 「学校再開支援経費」について

- 感染状況、学校種等の学校の実態が異なる中で、それぞれの学校のニーズに応じた予算措置は有効である。
- 予算の活用にともない、職場で要求をとりまとめるなど現場のニーズに応じた対応が図られた職場において、「活用度」が高い。
- 一方で、「校長の判断で迅速かつ柔軟に対応する」ことが予算趣旨であったにも拘わらず、それぞれの学校のニーズが聞き取られていない状況もある。
- また、制度の周知が十分されていない状況も見られる。教育行政と学校（校長・教職員）が一体となって感染症に対応していくためには、一体感のある対応が求められる。

- 購入されたもの（購入予定を含み）の大半がマスクや消毒薬等の消耗品となっている。そのため、現場は、今後の感染拡大に備え継続的な予算措置を求めている。
- 予算の執行可否について自治体での判断が異なっている。(例：網戸)
- 水道の蛇口、洋式トイレの蓋、教材教具の数等、新しい生活様式を想定していない校舎・教室の環境整備が強く求められている。
- 分散登校や少人数授業の実施にむけ、移動式黒板、ホワイトボード等の備品が購入され対応している。

- 感染対策と同時に熱中症への対応を多くの学校が実施している。体育館をはじめ、すべての教室への空調設備の整備が求められている。
- 今後、「寒さ」対策にむけた環境整備のための予算措置が必要とされる。
- 夏季休業を短縮しての授業実施の効果について、該当校により検証されなければならない。

(2) その他

- 毎朝の検温及び健康観察、子どもの下校後の消毒業務等の業務が増加している。加えて、子ども一人ひとりにきめ細やかな対応や心のケアが必要とされている。

教職員一人ひとりの業務と勤務時間が増加の途にある中、それを補うための人員拡充が求められている。

- 特にも、毎日の消毒業務は、一刻も早くすべての学校で業務委託できる体制とするべきである。
- 学校における「新しい生活様式」をすすめるために、少人数学級の推進とそのため教職員等の人員の確保が必要とされている。
- 教育予算の拡大のもと、教職員等の人員の拡充、学校施設・備品等の整備がはかれるべきである。

以上